

2022年9月

ハワイ大学大学院進学

嶋本 心 さん

沖縄県立美来工科高校出身

2020年3月 沖縄キリスト教短期大学 英語科 卒業
4月 沖縄キリスト教学院大学 英語コミュニケーション学科 3年次編入
2022年3月 沖縄キリスト教学院大学 英語コミュニケーション学科 卒業
9月 ハワイ大学大学院入学

2022年3月キリ学卒業

TOEFL iBT82点 (2021年11月)

英検 1 級合格 (2021年7月)

英検準 1 級合格 (2020年11月)

2020年4月キリ学
英コミ3年次編入

2020年3月キリ短卒業

ハワイ研修

2018年4月
キリ短英語科入学

英検 2 級合格 (2019年7月)

TOEIC625点 (2019年6月)

TOEIC200点台

※TOEIC Bridgeスコアを
TOEIC IPテストに換算

ハワイ研修(春期)が
きっかけで、英語の勉強に
スイッチが入りました。



TOEICを徹底的に指導した
Shogo Yanagida 英語科准教授
やる気のある学生にはとことん付き合います!

【ゼミ担当教員】

小嶺 千尋 英コミ准教授

専門分野: アメリカ研究
ハワイ・沖縄ディアスポラ研究





【写真左から(出身高校)】
兼島藍(前原)、ハーバー・ブリアーナ・理紗子(コザ)、伊波梨杏(前原)、多和田吏利(浦添商業)



SDGs及び社会課題解決に取り組んだ学生チーム
「2代目 LADYBIRD (レディーバード)」

沖縄の「生理の貧困」を考える

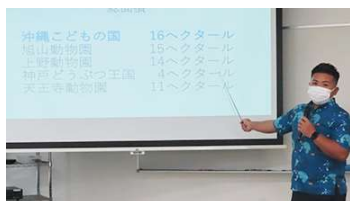
5月28日の「生理をジェンダーレスで考える日」を前に、制定に携わった英語コミュニケーション学科卒業生と在学生在が「生理の貧困」をテーマにしたイベントを5月26日、27日に開催し、生理用品の無償配布や生理に関するパネル、本の展示を行いました。

配布した生理用品は、昨年11月、学生の活動に賛同された方からいただいた、手作りの巾着袋と生理用品をセットにしたものです。

開催期間中は、生理用品を希望する在学生在が多く訪れ、巾着袋を手に取りました。



【写真左から(出身高校)】
熱田琴末(首里)、与那嶺優(首里)、金城拓弥(浦添工業)、島袋哉生(沖縄水産)、沙原朱里(星陵)、川田瑠理(首里)



観光・ビジネスを学ぶ! 観光立県沖縄のプロになる!
施設の課題や魅力を発見! 学生視点で考える沖縄こどもの国

沖縄こどもの国 × キリ短

開園50周年を迎えた公益財団法人沖縄こどもの国の更なる発展と、学生のマーケティング力向上を目的に、英語科と保育科学生によるワーキンググループが発足しました。

約3か月の期間で2度の現地調査を行い、学生同士議論を深めながら資料をまとめ、6月1日に沖縄こどもの国の職員をお招きし報告会を開催しました。今回は英語科グループの学生が、データを基に他県の人気観光施設と比較し、学生(若い世代)の視点から見た施設の魅力や課題を発表し、さらには具体的なグッズ商品やキッチンカー導入などの提案も行いました。

保育科グループの発表も今後実施する予定です。



【写真上 左から(出身高校)】金城寿和(名護)、金城優香(コザ)、大城可奈(浦添)
【写真下 左から(出身高校)】石原修講師(コープおきなわ)、大嶺美波(コザ)、古牧伶梨(豊見城)、JAおきなわ様



自分たちで考えた試作品を試食「まーさん!」

産官学連携 伊平屋島産黒糖とガーナ産力カオを使ったアイスクリームの開発、販売経路、促進まで

コープおきなわ × 伊平屋村 × JA おきなわ × キリ学

地域社会や途上国で起こる課題を我がごととして考え、社会に出ると強く求められる課題解決能力の育成を図る英語コミュニケーション学科の講義「地域と国際開発論」で、商品開発を通して、背景にある課題や問題に関心を寄せ、自ら調べ行動に移します。

講義では、ガーナの児童労働問題や離島の黒糖在庫問題を取り上げ、その解決へ向けた取り組みとして「ガーナ産のチョコレート」と「伊平屋島産の黒糖」を使用したアイスクリームの商品開発を手掛けました。

6月14日には、伊平屋村役場農林水産課の方やJAおきなわ、商品開発にご協力いただいている屋嘉一彦様(PLANNING YAKA 代表)にお越しいただき、意見交換を行いました。

今後は、役場の方々へ商品プレゼンテーションを行うなど、開発した商品の販売に向けて動き出します。

